

愛臨技學術部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班 提出日：令和 5 年 9 月 5 日 報告者：伊藤 裕安

行事種別	講演会	行事番号	230008137
開催日	令和 5 年 9 月 2 日(土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	小牧市民病院 講堂 所在地：小牧市		
テーマ	① Q&A ～素朴な疑問にお答えします～ ② 明日の生殖医療を担う胚培養士の育成・教育を考える！		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	藤田医科大学病院 古川 博 技師		
講 師	① トヨタ記念病院 平松 博子 ② 藤田医科大学 病態モデル先端医学研究センター 教授/センター長 長尾 静子 岐阜医療科学大学 保健科学部臨床検査学科 准教授 天川雅夫		
内 容	【Q&A ～素朴な疑問にお答えします】 ① 人工授精にステップダウンされる方が多いと思いますが人工授精は何歳でも保険診療でしょうか ② 凍結胚の保存で保険開始前後の保存期限について。 ③ 保険適用前後で胚盤胞の凍結基準の変化があったが変更した施設はありますか ④ 検卵後の医師への報告はどのように実施していますか 前回の研究会にて回収した質問を中心に生殖医療に関わる疑問を 4 題 Q&A 方式で平松先生の施設の現状を踏まえ解説していただきました。 受講者にとっても自施設と比べることができ参考になったと思われます。 【明日の生殖医療を担う胚培養士の育成・教育を考える！】 ① 病態モデル先端医学研究センター 教授/センター長 長尾 静子 藤田医科大学大学院胚培養育成コースにおける高度な知識・技術習得への現状と未来についての内容で 1 年次の基礎・演習、2 年次の臨床・演習と高度な知識技術習得への現状と未来について講演していただきました。		

	② 岐阜医療科学大学 保健科学部臨床検査学科 准教授 天川雅夫 1. どうして生殖補助医療教育に携わるようになったか 2. 香川県立保健医療大学での導入（生殖医療） 3. 純真学園大学（新設大学）での導入（生殖医療） 4. 岐阜医療科学大学での導入 5. 今後の教育 天川雅夫先生の新人臨床検査技師から現在の教育者になって、現在の問題点と課題や今後に期待される事を施設の写真やスライドを作成していただきわかりやすく説明していただきました。
参加者	総数：22名（会員22名、県外会員 0名、非会員 0名、賛助会員 0名、学生 0名、その他 0名）・申込総数：21名
共催、後援など	なし

2022.10.12